

## 第49回総会(7月3日)迫る 見逃せない2大イベント!



窪田健志氏 (99 期)



楽しいマリンバ演奏



宮澤泰正氏 (84 期)

### ふれあいの場としての総会を ともに盛り上げましょう

第49回総会実行委員長 田中 稔 (63期)

関東同窓会第49回総会が7月3日(土)、千代田区一ツ橋の如水会館で開催されます。今年は海洋研究開発機構チームリーダーの宮澤泰正氏(84期)の講演と、懇親会のアトラクションとして打楽器奏者の窪田健志氏(99期)と仲間たちによるマリンバ演奏を企画しました。

宮澤氏は「研究の最前線についてご紹介し、私たちの生活と海洋の思わぬつながりについて考える機会にさせていただければ」と話しています。「くぼった打楽器四重奏団」を率いる窪田氏は「アフリカン・ブルース」「星に願いを」などの演奏を予定しています。

若い同窓生の講演と演奏を楽しみながら、年に一度の同窓生の集まりの場を心豊かな触れ合いの場として、また新たな出会いの場として皆さまと一緒に盛り上げていきましょう。

**宮澤氏の略歴** 90年京都大学工学部数理工学科卒、92年同学部数理工学専攻修士課程修了後、三菱総合研究所入社。04年海洋研究開発機構入社、05年東京大学博士(理学)取得。

**窪田氏の略歴** 東京芸術大学大学院修了。のためカンタービレ演技指導のほか、のためオーケストラの全公演にティンパニストとして参加。ソロからオーケストラ、邦楽の打楽器奏者としても活動中。現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団契約団員。

会場では、会員の作品展示、頒布も実施します。写真、詩歌、随筆、紀行文、評論文、その他の書籍、手工芸品などの出品、ボランティア活動などの人材募集のPR、母校の思い出、班活動、同窓会・同期会・同級会活動の記録などの出品をお待ちしています。

【申込み・問い合わせ先】  
川村恭司 (63期) 電話 03-3975-8880  
Eメール kkwmt7@extra.ocn.ne.jp



【日時】2010年7月3日(土)  
12:45 受付開始  
13:30～17:30  
講演会・総会・演奏会・懇親会  
【会場】如水会館  
千代田区一ツ橋 2-1-1  
電話 03-3261-1101  
【会費】6,000円(特別価格)  
105期以降は2,000円  
【交通】  
●地下鉄三田線・新宿線・半蔵門線の  
神保町駅下車 徒歩3分  
●地下鉄東西線竹橋駅下車 徒歩4分

### 参加費は6,000円!

母校創立110周年記念特別価格

ちょっとおしゃれなマリンバ演奏と知的な講演、さらに懐かしい友との会食が楽しめて6,000円。上田高校OBとしては見逃せません。

母校創立110周年、それに関東同窓会報第80号を記念して、例年より2,000円安い特別価格としました。

多数の皆さまのご参加をお待ちしています。

# 新年会に90人参加

## 岩井重一氏（62期）が講演



講演する岩井重一氏

関東同窓会の新年会が1月21日、千代田区一ツ橋の一ツ橋ホールで開かれ、約90人が参加した。本格的な新年会はこれが2回目。今回は社会人になったばかりの102期の女性3人をはじめ、若い人の参加者が目立ち、「老・壮・青」の会員が交流を深めた。



懇親会の風景



102期の女性3人



校歌斉唱の指揮

懇親会に先立って元東京弁護士会会長の岩井重一氏（62期）が、スタートしたばかりの裁判員制度について講演。制度導入の経緯、裁判員選任の手続き、選ばれたら何をするのか、どんな場合に辞退できるのか—などについて、分かりやすく説明した。

懇親会では櫻井功輝さん（53期）が上田千本桜植樹記念で作曲した「おお上田城」を独唱したほか、現役世代の参加者が次々に壇上が上がってあいさつ。最後に恒例の校歌斉唱で気分が盛り上がったところで、お開きとなった。

## 現役世代からのメッセージ

### 新年会の参加者3人が寄稿

## 出会いは運命も変える



千代鶴深雪  
（87期）

年に1、2度の同窓会報「うえだ」を読む時には、現在の高校の様子や先輩、後輩のご活躍などを知り、在学中は落ちこぼれで決して自慢できる学生ではなかった私が「さすが上田高校！」と都合よく誇らしげに思う瞬間があります。

関東同窓会に参加したのは何年前にもありませんが、1人で参加することが正直とても心細く、勇気が必要でした。

仕事では、目上の経営者の方にも物おじせずに発言し、法人顧客の新規開拓などを実践してきたこともある私ですが、なぜか同世代の参加が少ない同窓会には気後れし、ちゅうちょよしてしまいました。こんな私で説得力がありませんが、同窓会はさまざまな分野で頑張った方々と直接対話ができる場であり、信頼のネットワークが築ける場だと気が付きました。これは在籍中の成績や年齢、性別など一切関係なく、上田高校を卒業した人たちの特権だと思います。私自身、起業して仕事を行っているのと、信頼できるその道のプロの方と直接知り合えることは大変価値

あることであり、貴重なことであると痛感します。人との出会い、ご縁は良くも悪くも自分の運命すら変えてしまう重要なことだと思います。

人間はつい困った時や切迫した事態にならないとなかなか行動できませんが、「必要ではないかな」「それどころでない」と考えている人ほど、実はとても有意義な時を過ごせる場ではないかと思えます。

流行の言葉で言うならば、節約（無駄な時間を使わず）とお得（信頼できる方と一度に会える）情報現場であると思います。

私事ですが、3年ほど前からささやかながら支援している中米エサルバドルの子供たちに3月、会いに行つて来ました。日本では考えられない、電気やガスのない日常生活をしている人々がおおり、中学の就学率が約3割の現状を目の当たりにしました。

衣食住に困ることなく、恵まれた日本の環境で当たり前「教育」を受けられることができるありがたさをあらためて感じ、考えさせられました。

そんな経験もあり、私も何か役立つことができたらと、これからは同窓会に参加し続けたいと素直に思いました。





# 「試百難」の心でがむしやらに



永井加奈子  
(102期)

「いざ百難に試みむ」。先日、関東同窓会主催の「サマーウォーズ」上映後の監督インタビューで

触れられた上田高校校歌の一節である。「何事にも挑戦しようとする姿勢が気に入った」ということで、映画の中に含めたそう。

高校を卒業して早6年、離れてみてこの歌詞の重みがわかる。大学で東京に出てきては周りのとさまたざまなギャップに悩まされ、留学しては文化の違いに戸惑い、社会に出ては自分の甘さを知る。ただ、そこががむしやらに何かに向かって生きてきた。がむしやらに向き合うことであるんなことを学んできた。すべて成功したわけではなく、もちろん失敗もあったが、恐らくこのがむしやらに向き合うことが大切なのだろう。久しぶりにこの歌詞を思い出し、また頑張ろうと思ったものである。

また、いつまでも高校の仲間とばかり話をし、おいしいお酒が飲めるのは、すごくありがたいこと。

物があふれる世界ではあっても、ずつと大事にしていかなければいけないものもある。そこが「いざ百難に試みむ」と一緒に青春を過ごしてきた仲間だと、私は深く思う。

先日から関東同窓会に参加させていたが、年代は違えど、当時同じような目標を持っていた者として、すごく楽しい時間を過ごさせていた。先輩方からさまざまなお話を聞けるのはありがたいことであり、これからもぜひ参加させていた。こう思っている。「いざ百難に試みむ」同士として・・・乾杯！

## C'est la vie を実感



渡邊博(78期)

映画「サマーウォーズ」家族で楽しませていただきました。おかげで東京生まれの娘たちも、父親の出身地が上田であることを誇らしげに思っているようです。

18歳の春、上田高校を卒業し、大学進学を期に東京都内で暮らし始め、その後、米国、英国、フランスで留学や駐在生活を経験し、今は千葉県市川市に自宅を構えております。いまでは年末年始、夏季休暇ぐらいいしか上田には戻らず、親不孝をしております。

自分の心の中では自分の地元と言いつつ、いまだに両親の住む上田である、と思っております。ただし、私もいよいよ「アラフィー」の仲間入りをし、さて自分が老後までを過ごす場所はどこか？と考えると、答えがいまだに見つからない自分があります。

「子育ては親も育つ」とはその通りで、子育てが一番長く時間を費やした今住む町が、少年期を過ごした上田以上に自分を育ててくれました。移り住んだときには、妻も私も何のゆかりもない町だったのに、いつの間にか居心地のよい愛着を感じております。まさに私の地元となりました。

上田の山猿と言われていたのに、海に近い漁師町の歴史を持つ町に地元意識を持つようになります。少年時代の私には想像もつかない展開となりました。

フランス語に「C'est la vie」という言葉がありますが、そのとおりですね。

## 女性だけのサクスカルテット

### 松尾倶楽部の新年会に出演したバンドから便り



今回のお話は2年前の秋に副代表幹事の倉島さんからいただきました。とあるチャリティーコンサートで私たちの演奏を聴き、声をかけてくださったのがきっかけです。倉島さんから松尾倶楽部についての興味深いお話をたくさん伺ったので、私たちが皆さんにお目にかかれるのを大変楽しみにしていました。

演奏は前半、後半の2回ステージ。前半は「日本の名曲ステージ」として、美空ひばりさんや坂本九さんのメドレー、日本の四季メドレーを演奏しました。日本の四季メドレーは日本の童謡が30曲近くも出てくるメドレーなのですが、曲数が一体何曲あるのかメモをとりながら聴いている方もいらつしやう、終わった後に何人の方が曲数の答え合わせをしていました。

最後は皆さんに合唱していただきながら、「信濃の国」を演奏。会場が一体となった瞬間でした。演奏後には会食にも参加し、とても楽しい時を過ごさせていただきました。

後半は「世界の名曲ステージ」として、グレンミラー・メドレー、A列車で行こうなどを演奏。皆さんリズムに乗って手拍子をしてください、私たちも楽しく演奏できました。

私たちが出演させていた新年会は136回目の例会という事で、その歴史の長さに大変驚きました。上田高校の同窓生から始まり、今ではその枠にとられず、松尾倶楽部という会を通じてさまざまな方が集まっていることは本当に素敵なことだと思います。人と人のつながりの大切さをあらためて感じました。

そのような歴史ある松尾倶楽部の会で演奏させていただき、たくさんの方と出会えたことをとても光栄に思います。本当にありがとうございました。

ラ・メールサクソフオンカルテット

リーダー 鳥井綾子

# 「サマーウォーズ」上映会に300人参加

## 細田守監督が特別出演

### トークショー実現

映画「サマーウォーズ」上映会が4月10日、千代田区一ツ橋の一ツ橋ホールで開催された。会場の玄関には寺島知恵子さん(58期)が筆を執った「細田守監督来たる! サマーウォーズ上映会」の立て看板。関東同窓会のほか、東京上田会などの会員と家族ら300人が参加した。

昨年夏に一般公開された「サマーウォーズ」は、国内で大ヒットしただけでなく、海外でも好評を博し、文化庁メディア芸術祭賞のアニメ部門大賞など各種のアニメ賞を総なめ。上田市からも昨年11月に特別賞を受賞した。

映画には、別所線の丸窓電車、上田城の東虎口櫓門にそっくりな「陣内家」の門など、故郷の風景がふんだんに登場。この夏、上田高校が3度目の甲子園出場を果たすという、うれしいシナリオも取り入れられている。

上映後、細田監督が舞台上上がりトークショーを開催。「これだけ上田を連呼した映画は史上初」と語り、上田を舞台に選んだ経緯など、制作の裏話を披露した。

## 細田監督との

### 1問1答(要旨)

司会は上原昇副会長

—上田を映画の舞台に選んだきっかけは。

「上田で撮影された歴代の映画の中でも、これだけ『上田』を連呼した映画は史上初だと思う。4年前『時をかける少女』を作って、次に何をやるかと考えたとき、海外の映画祭などに招かれて感じたのは、初めから世界の市場を狙うより、身近なモチーフを選んだ方が多くの人に見てもらえるのではないかと。で、妻の実家のことを映画にしてみようと思いついた。それが上田を舞台に選んだ理由だ」

—上田の印象は。

「初めて行ったのは、妻の両親にあいさつするため。空が青く、湿度も低くて気持ちよかったです。でも両親に会う緊張で、周囲の風景を楽しむ余裕はなかった。映画に出てくる陣内家は真田家がモデル。実は上田のことはあまり知らなかったが、妻を通して情報が入ってきた。一番印象に残ったのは、真田軍がかつて徳川軍を2度も打ち負かしたという話。圧倒的な勢力差にもかかわらず負けなかった。そのことを上田の人は今でも誇りにしていると聞いて、うらやましいと思った。そういう歴史を持つ人たちが今活躍するとし



たら、どういふことになるのか。そう思っこの映画を制作した」

—映画の中には、上田高校が甲子園出場を果たすという場面も。これを取り上げた経緯は。

「今年上田高校が躍進するだろうという、映画に込められた予言。なぜ上田高校なのか。実は僕の妻は上田染谷丘高校の出身。昔は女子校で、今は共学。最初に考えたのは、染谷丘高校野球部が甲子園に行くという話。元女子校が共学になって甲子園出場を果たすという面白さも含めて、設計図を描き始めた。ところが長野県には佐久長聖、松商学園など強豪校が多いことを知った。その中で、元女子校が甲子園に行けるのか、ちよつとリアリティーに欠けると思い始めた。調べたら、上田高校は過去に2度も甲子園に出場している。公立校なのにすごいと思っ、急ぎよ上田高校に変更した」

—映画には「試百難」の額が登

場する。これを使った理由は。

「劇中では、陣内家の大広間に掲げられた書の1つとして使わせてもらった。きっかけはロケハンで上田高校に行った時。校内に大きな石碑があり、そこに刻まれていたのが『いざ百難に試みむ』という一節。困難なことにあえて挑戦するという姿勢にハッとさせられ、真田家の精神性が現代に語り継がれているように感じた。真田家には、武田氏の『風林火山』のような名文句は残されていない。『試百難』は歴史的な言葉だと思っただけで、調べてみると、漢文の先生が作ったとか。でも、昔から上田にあるスピリットが、今の言葉で言うところの風になると思い、引用させてもらった」

—「サマーウォーズ」は海外でも大きな話題を呼んだ。自分の作品に対する評価は。

「2月にベルリン映画祭に行っただけで、パリ、ニューヨーク、ボストンなども訪問した。昨年はシンガポールや韓国でも上映した。どこでも気に入ってもらい、うれしかった。日本の一地方都市を舞台にした映画にもかかわらず、世界中の人たちが遠い国の遠い街の話とは思わず、自分のことのように感じてくれた。今の世に大事なものが上田にあつて、それをたまた私が映画化したわけだが、上田に流れているものが、世界でも身近なものとして受け止められていると感じた」





## TOY'S FACTORY

Imaginations are free and fun,  
and excitements more wonderful and much greater  
発想は自由に楽しく、そして感動は素敵に、より大きく

株式会社 トイズファクトリー  
名誉会長 井出 孝光 (61期)

◎ Mr. Children

◎ ゆず

◎ BUMP OF CHICKEN

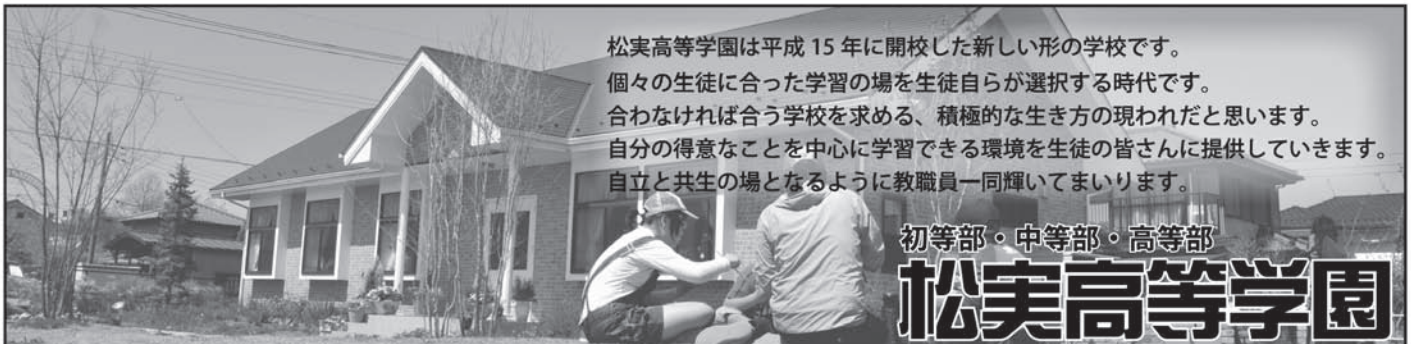
◎ ケツメイシ

◎ RAG FAIR

◎ JAY' ED

◎ 湘南乃風

◎ UNISON SQUARE GARDEN



松実高等学園は平成 15 年に開校した新しい形の学校です。  
個々の生徒に合った学習の場を生徒自らが選択する時代です。  
合わなければ合う学校を求め、積極的な生き方の現われだと思えます。  
自分の得意なことを中心に学習できる環境を生徒の皆さんに提供していきます。  
自立と共生の場となるように教職員一同輝いてまいります。

初等部・中等部・高等部

# 松実高等学園

学園長 松井石根 (60期) 〒344-0067 埼玉県春日部市中央 1-55-15 <http://www.matsumi-gakuen.net>



## 社会医療法人 恵仁会

理事長 黒澤 一也  
常務理事 黒澤 美那子 (60期)

社会医療法人 恵仁会は  
命を大切にし  
地域の皆さまの生活を支える  
保健・医療・福祉を目指します

<http://www.keijinnet.or.jp>

〒385-0051 長野県佐久市中込3-15-6  
TEL 0267-64-1700 FAX 0267-64-1719  
E-mail info@keijinnet.or.jp

## アクト法律事務所

〒107-0052  
東京都港区赤坂3丁目9番18号  
ラウンドクロス赤坂見附3階  
TEL: 03-5570-5671 (代表)  
FAX: 03-5570-5674  
【最寄りの交通機関】  
地下鉄銀座線・丸ノ内線 赤坂見附駅下車徒歩1分

弁護士 (所長) 岩井 重一 (62期)  
弁護士 安田 隆彦  
弁護士 平澤 慎一  
弁護士 寺島 英輔  
弁護士 黒澤 真志

金属摩擦面のフリクションロスを劇的に改善する省エネ製品

「ナノワークス」の製造販売

人と地球の健康を願う「環境企業」

稀少金属類の  
資源開発 (中国・ザンビア)

有用資源のアジア域内での  
リサイクル

藤堂インターナショナル株式会社 代表取締役 小山 雅堂 (65期) 取締役 小宮山 豊 (65期)  
〒146-0094 東京都大田区東矢口3-30-12 祥明ビル TEL 03-6825-7000 [www.todo-nanoworks.com](http://www.todo-nanoworks.com)







スクール・アイデンティティー

## 「試百難」誕生の経緯

上田高等学校前校長 藤本光世

昨年11月、放送コンテストに「試百難」の由来について製作したいと、放送班からインタビュを受

けました。その要旨を記してみま

す。(小生の在勤中の掃除姿など

の録画と併せて編集。SBC杯長

野県高校新人コンテストのビデオ

メッセージ部門優秀賞を受賞し、

北信越大会に出場することです)

全校の生徒の生きる礎と力と誇り

になるのです。

赴任して上田高校の心について

知りたいたと思いました。聞くと、

ある人は文武両道、ある人は質実

剛健と言いました。しかし、前者

は高校生の過ごし方であり、後者

はどこにでもある言葉で、上田高

校の心ではありません。赴任し

た時に、校歌や応援歌のCDを通

勤の車の中で聴いて全部覚えてし

まいりました。どの歌詞にも徳川の

大軍を2度にわたって破った誇り



前列中央が藤本氏

校長室を表敬訪問した53期2組のOBと藤本校長(当時)

田高校の心にしてくれたのです。ですから私がしたのではなく、もともとあった心が大変不思議なことに「試百難」の言葉で表にあらわれてきて。そう思っています。

―試百難の心と、生徒に伝えたいことを話してください。

試百難の心を理解するには、

真田昌幸がどのようにして徳川の

大軍を破ったかということを知

らなければなりません。とても大

切なことは周到な準備です。徳川

が攻めてくることは分かっている

。それまでにどのような準備を

したか。昌幸は必死になって、あ

りとあらゆる周到な準備をしたのです。皆さんも大会とか入試があるでしょう。その期日は分かっています。それに向けて精一杯の準備をすること。何をしたらよいかを自覚して実行すること。ここに「試百難」の最も重要な点があります。それから「義心」です。これを「こころ」と読ませています。

「義」とは何か。義は大義とも言つて、誰から見ても、どこから見ても道理にかなって恥ずかしくないということ。自分賭する価値があることです。現代ほど、義が問われている時はありません。義は「試百難」の意義を確信し、「試百難」の力となるでしょう。

校長室に「義为重」と書いた大額があります。混沌の現在において、義であることは何か、それを心に秘めて精一杯周到な準備をすること、ここに「試百難」の心があります。ただ困難に向かっても駄目なのです。このことをせひとも「試百難」の心の裏に秘めてください。そして上田高校の古城の門をくぐるたびに「試百難」の心が宿ることを誇りに思つて、毎日を過ごしてほしいと思います。

## 上田高校 NOW

がうたわれていました。校歌の最後の一節の「我に至剛の誇りあり、いざ百難に試みむ」がその象徴でした。「これだ」と思いました。それを短く「試百難」として校長通信の表題としたのです。校長通信を同窓生の皆さんに配布していると、関西同窓会報に「試百難の旗印」という言葉が出されました。ああ、「試百難」は旗印になるんだと思いました。その後、上田高校新聞のコラムの題が「試百難」になり、先生方がスクール・アイデンティティーを「試百難」としてくれました。上田高校に関係する皆さんが自然と「試百難」を上

## 入学式の風景



# 新入生364人が入学

## 初めて女子が男子を上回る

1学年主任 南澤茂徳

たる学習や心構え、卒業生の進学状況と進路を見据えた今後の取り組み方について、貴重なお話をいただきました。

その後、HR単位で、各担任から資料をもとに各教科の学習方法の説明を受け、引き続き学力(英・数・国)および学習状況実態調査と慌ただしくも内容の濃い高校生活をスタートさせました。

学級増となった今年度、9人の担任が、極力単純明快を旨として核となる学年目標はと考える、掲げたものは「共に高め合う111期」。そのための具体的目標として「笑顔であいさつ」「清掃の徹底」「時間の有効活用」、当たり前のことのようにですが、いざ実行となると、なかなかエネルギーの要るものと担任一同自負しています。

「共に高め合う」に関して印象深い講演会がありましたので、ここに紹介させていただきます。

生徒が入学して3日目、元バスケットボールの五輪選手で、現長野県経営者協会教育研修部課



新入生のコミュニケーション研修

## 上田高校 NOW

好天に恵まれた4月6日、厳かな空気に包まれて入学式が挙行され、全日制364人の新1年生が誕生しました。男子173人、女子191人と若干女性上位(円満な学年の兆し?)を思わせる学年です。

生徒会主催の対面式を終えた後、緊張が続く中で行われた恒例の学年集会では、本郷教

頭、落合進路指導主事から高校生活全般にわ

長の藤澤令子先生によるゲーム形式で体を動かす、生徒たちにも予想外の講演でした。その中で、2人が組になって、互いに1本の指ではしを押しつけるように支え合って運ぶ共同作業を通してコミュニケーションの必要性を認識する、さらにその奥に、はしのがった方を相手に向けてしまったその相手のことを考え、他への思いやりの大切さをあらためて自覚させられるといった、座学では気づきにくい価値ある講演内容でした。

## 北志賀竜王で学習合宿

### 英国数を中心に1日10時間

2学年主任 竹内正典

そして、何より感心させられたのは、その講演会に対する生徒の感想文でした。大半の生徒が、その教えを見抜き、共鳴して、自らの高校生活の指針にしようと決意表明してくれていた点です。

ところで、昨年の新型インフルエンザの流行は、学年にも大きな影響を与えました。11月には、学年の半数以上のクラスが学級閉鎖になり、学習合宿を経験して「さあ、学習に取り組むぞ!」と決意し実行する矢先のこの出来事は、その後の生徒のやる気にも少なからず影響を与えました。

生徒たちには先の長い3年間、今後、受験地獄やさまざまな試練に遭遇し、「試百難」とはいっても、皆が頑強な人ばかりではないはずです。入学早々に再認識した「思いやり」の心をもって、共に高め合って成長してくれるものと信じています。

さて4月を迎え、入学時の初心を思い起こし、新たな出発です。恒例の上田城跡公園の花見は、やや肌寒い中でしたが桜は満開。生徒は団子をはお張りながら、笑顔にあふれていました。まずは上々のスタートといったところです。

2年になると、授業はすべて講座別になります。進路希望に合わせた講座選択ですが、居心地のいいクラスから離れ新たな集団での授業、毎時間の重い荷物を持つての教室移動など戸惑いがありました。しかし、こうした授業形態は、適度の緊張感と周りの生徒からの刺激もあります。自分を見直す絶好の機会にし、やる気につなげてくれることを期待しています。

2年生は、生徒会活動・班活動においても、中心的な立場でリードしていく責任があります。様々な場面での自分の課題をしっかり意識し、充実した高校生活を送ってほしいと願っています。



北志賀竜王での学習合宿

昨年10月、2泊3日の日程で北志賀竜王において学習合宿を行いました。入学して半年、高校生活に慣れてきたが、学習に取り組む姿勢に甘さが見られる状況にありました。生活を見直し、後期からの学習を組み立てることを目標とする合宿でした。自学自習を基本に、英国数の課題を中心に学習しました。1日10時間に及ぶ学習に真剣に取り組む、質問コーナーは生徒であふれ、対応する先生方も丁寧に対応していました。





# 青春の血、存分に燃やせ!

3 学年主任 滝澤文浩

早いもので、もう3度目の春がめぐってきました。2年前の入学式の時、プールわきの木立でさえずっていたウグイスは、あれ以来どこへ行ったのか、そのさえずりが聞こえません。

「今年の3年生は上品な感じですね」「静かで、まじめですね」こんな言葉が耳に入ってきます。いつからか、楽しい学校生活も長い鍛錬・試験の時となり、じっと耐えなければならないような日々となつて続いています。

切磋琢磨(せつさくたつま)もいい言葉ですが、実際には苦しい日々の連続かもしれません。忙しそうにしている生徒



沖縄修学旅行

## 母校創立 110 周年記念式典

9月18日(土)午後、上田高等学校同窓会の総会にあわせて、上田東急インで記念式典が行われます。

記念講演者は俳人の矢島渚男氏(本名矢島薫、51期)。参加会費は5,000円(予定)です。

### ▶記念事業の資金募集中

同窓会では110周年記念事業の資金募集(1口1万円、1口以上)を9月18日まで実施中です。ご寄付をよろしくお願いいたします。

記念事業は教育環境整備(合宿所付帯設備一式、普通教室へ空調設備の導入)などです。

募集に関するお問い合わせ、資金募集趣意書、振込み用紙などの請求は上田高等学校同窓会事務局まで

〒386-0024 上田市大手1-9-8

TEL: 0268-22-3146

E-mail: uhd@ueda.ne.jp

たちを支えているのは、友人との語らいなのか、家庭の絶大なる支援なのか、つくづく考えさせられます。

昨秋の修学旅行は連日の雨となつてしまいました。沖縄のバスガイドの「最近まで水不足で困っていたんですが」という言葉が本当に恨めしく思えたほどでした。

しかし、あのインフルエンザ騒ぎと悪天候の中、沖縄の平和公園に「平和の鐘」の大合唱を響かせてきた生徒たちは、なかなか見事な立派なものでした。

いくつかの苦い経験をしながらも、彼らも耐えることにはいつし

か慣れて、だんだんと強くなってきたようにも思います。行動面における受動的な側面は相変わらずの感もありますが、それでも、最上級生になったせいか、さまざまなことへの取りかかりは早くなってきたように思います。ついこのごろまで前3年生でいっばいだった学習室も、朝7時20分といえは、10人ほどの生徒が机に向かっていきます。

今年のインターハイは沖縄であります。今度こそ、青い空、青い海の沖縄に行きたい、という思いを強く持っている生徒がかなりいます。文化祭の準備も始まりました。余すところなく持てる情熱を傾け、青春の胸の血を思う存分燃やしてくれることを願っているところですよ。

## 合宿所「明倫舎」が完成

### 浴室完備は県内初

全日制教頭 本郷幸博

長年の懸案であった合宿所の建設は、昨年12月8日に着工され、3月11日に完成しました。内部は、生徒用宿泊室3部屋と監督室および洗面室・洗濯室・浴室を備えています。

特に浴室が備わった合宿所は県下初であり、これも同窓会の皆さま方の暖かいご支援

なっております。

今後、周囲はポケットパークとして順次整備され、訪れる観光客がこの場所まで足を止めることも多いかと思えます。

なお、合宿所は「明倫舎」と命名され、本年度から使用開始となりますが、班活動やホームルーム活動の拠点として大いに利用されることと思えます。



の陰と、生徒・職員一同共に感謝申し上げます。また、写真でご覧いただけるとは思います。

特別寄稿

プロ野球に生きた53年

ON全盛時代に球審務める

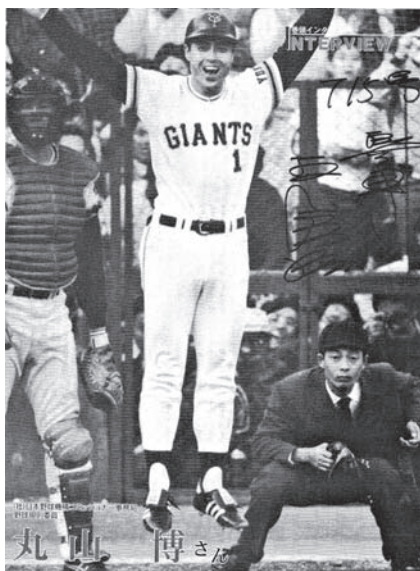
丸山 博 (49期)

2010年1月末をもって私はプロ野球界にさよならをした。

母校が初めて甲子園に出場した1957年にセントラルリーグ審判としてプロ野球界入りし、以後文字通り野球、特に審判に明け暮れた半世紀を送ってきた。

45年春に上田中学に入学、5ヵ月後に太平洋戦争が終結した。戦後いち早く復活した野球部に入学し、マネージャーを務めて51年に卒業。以後、家業(紙文具商)に従事しながら高校野球の審判をするなど、野球とのつながりを続けてきた。

3度の飯より好きだった野球で身を立てることを考えていた私は



王選手が715号を打った瞬間

初出場の試合は国鉄―中日戦(右翼外審)だった。しかし、1軍に昇格したからといって、すぐに球審ができるほど

プロ野球審判に目標を定め、その機会を待っていたが、57年にセントラルリーグの採用試験に合格し、反対する父と長兄を説き伏せ、ウエスタンリーグ(2軍)に配属されてプロのスタートを切った。

赴任した関西は、言語、生活習慣など多くの点で生まれ育った信州とは異なっていたが、目標に向かっていった私にとっては障害とはならず、1日でも早く1軍の審判になるために、昼は2軍戦出場、夜は1軍戦見学と、まさに審判漬けの日々を過ごした。

その甲斐あって59年春、1軍に昇格(東京赴任)することができた。そのときの喜びは今でも忘れない。

口は甘くなかった。3年後によく球審を務めるようになったが、くしくも初球審も初出場と同じカードの国鉄―中日戦だった。

最初のころは国鉄スワローズの試合の球審が多く、後に400勝投手となった金田正一投手の球をジャッジする機会が多かった。当時、金田投手をはじめ超一流の投手に数多く接する機会に恵まれたのが、球審の技術向上に大変役に立った。

▼王選手の715号 800号の球審も

それ以降、現役引退までの31年間、巨人軍のV9、王・長島の大盛時代など、今でも語り継がれている数々の試合をグラウンド上で体験し、まさに審判冥利(みょうり)に尽きる年月を過ごすことができた。

その中でも、巨人軍王選手の715号本塁打(ベーブ・ルースの記録を超える)、800号本塁打の球審を務めたことは良い思い出で、今でもその光景が脳裏に焼きついている。とくに715号本塁打の写真は大きなパネルにしていまも居間に飾ってある。

89年末に現役を退いたが、生涯公式試合出場は3521試合に達していた。この数はプロ野球第4

位で、私としては唯一誇れる記録となっている。

現役引退後、3年間の台湾プロ野球審判の指導、10年間にわたる野球規則委員と、まさに野球に明け暮れた53年を送ってきたが、自分自身の年齢を考え、後継者にバトンタッチすることになった。

野球大好きから始まった私の審判人生を半世紀以上過ごすことができたことは、妻をはじめ家族の協力があったからで、さもないれば、このような幸せな人生を送ることができなかつたかもしれない。

昔人間の私は面と向かって妻に感謝の言葉は言えないが、その気持ちは伝わっているのではないだろうか。いずれにしても私は最大の果報者だったと思う。

在任中、母校野球部が夏の甲子園に2回出場した。2度目の出場の87年夏、私は甲子園球場へ応援に行った。アルプススタンドから応援した甲斐もなく習志野高校に敗退した。しかし炎天下、甲子園球場で母校の応援をしたことが良い思い出となっている。

高校野球のレベルが上がり、公立校の甲子園出場は至難の業となってきたが、いつの日か甲子園球場のスコアボードに母校の校旗がはためくよう願っている。

祝 関東同窓会第49回総会・懇親会

- |       |         |    |       |    |       |    |        |    |       |
|-------|---------|----|-------|----|-------|----|--------|----|-------|
| 実行委員長 | 8組 田中 稔 | 1組 | 上原 信文 | 3組 | 上條 和祥 | 5組 | 大塚 和弘  | 7組 | 山浦 衛  |
|       |         |    | 勝野 道弘 |    | 川村 恭司 |    | 塩沢 清文  |    | 山浦 善樹 |
|       |         |    | 北沢 昌規 |    | 西沢 文昭 |    | 小林 諒一  | 8組 | 山浦 宗芳 |
|       |         |    | 深沢 直行 |    | 保坂 証司 | 6組 | 鈴木 弘子  |    | 内山 林  |
|       |         | 2組 | 飯島 正文 | 4組 | 関田 正幸 |    | 中沢 秀夫  |    | 渡辺 壯治 |
|       |         |    | 滝沢 鉄夫 |    | 藤川 昇  |    | 西村 耕三  |    | 節 節   |
|       |         |    | 土屋 整也 | 5組 | 飯島 俊文 | 7組 | 佐伯 謹吾  |    |       |
|       |         |    | 浜谷 幸夫 |    | 小田中時幸 |    | 保谷野美智子 |    |       |

63期

上田高校創立110周年を記念すべき年に開催される関東同窓会総会・懇親会を盛り上げましょう。

63期は総会実行委員会の当番期です。

懇親会終了後、恒例の同期会を開催します。





# 上田高校野球部変革のススめ

## 女子の優秀な頭脳活用を

驚いたことに、今年度の母校の新入生は男子173人に対し女子が191人となり、ついに女子が男子を上回り、開校以来の出来事となった。2年は男女各168人、159人、3年は181人、145人で、全体では辛うじて男子数が上回ってはいる。

こうなると、3度目の甲子園の早期実現を期待していた、われわれ野球部OB、同窓生としては、当然、野球部への影響が懸念される。そこで、4月現在の状況を加藤部長にお尋ねしたところ、新入生が23人も入部し、これに2年生20人、3年生12人を加えると、総数55人になるとのこと。しかも過去数年來、部員数は50人前後を推移している由、この心配は杞憂であつた。



野球部員、全員集合！ 左端は女子生徒マネジャー

われわれの時代（1955年前後）は女生徒の台頭期でもあり、男子は1000人以上いたはずだが、当時の野球部員数はといえ、20〜30人前後であつたことを考えると、正に「隔世の感あり」といわざるを得ない。この原因は多々あるだろうが、母校が一部私学並みに、野球などの体育部活動に特化したのではないことは、ここ2、3年、国公立

大学現役合格者数で、県下で連続1位（今年は2位、1位は屋代）で、しかも野球部、他運動部出身者にも、東大をはじめ国公立、私立の進学者がいることから明らかだ。

そこで名実ともに、男女共学の進学校となつた以上、野球部としても、女子生徒増加現象を単に憂慮するのではなく、むしろ彼女らの「優秀な頭脳と、きめ細かな心遣い」を活用し、野球部を変革し戦力向上に努めるべきではないかと思ひ至つた。

ただし最近、女子プロ野球が復活したとはいえ、選手への起用はいささか早計だ。何か良いアイデアはないかと思案していたら、しばらく前、新聞の書評欄で読んだ「もし高校野球の女子マネジャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」という奇妙なタイトルの本が評判になつていてという記事を思い出し、早速購入してみた。

読み始めのうちは、経営学の大家ドラッカーの名著「マネジメント」が果たして、どのように応用できるのか疑問であつた。内容は、ある公立進学高校野球部の女子マネジャーがひよんなことからこの本を購入、研究、実践することにより、弱小野球部の甲子園出場を実現させてしまふというストーリーだが、読み終わって「これは面白い。試す価値大いにあり」と、わが意を得た。

高校野球といつても、所詮は人を中心とした組織体である。となれば人や物を有効利用し目的を達成することでは、一般企業の場合と本質的に同一ではないかと考えた。要するに、部員各自が自分を野球部という経営体の一員として客観視でき、モチベーション効果も期待できるし、フォーメーション・プレーやデータ野球にも応用できるのではないかと。

そこで早速、加藤部長にこの旨を進言したところ、なんとこの4月からマネジャー志望の女子生徒が入部しているし、上述のドラッカーの本を既に購入し、選手、生徒に読ませているとのことではなにか。しかもこの生徒は、今年3月に卒業した野球部員の妹さんだという。誠にほほ笑ましいことである。

加藤部長には、この気運を生かし、上田高校独自の野球を構築してほしい旨お願いした。今春の選抜大会では、長野高が21世紀杯の候補になつていたのでもあり、母校も遅れをとつてほしくない。

上田球友会会長

成田邦夫（56期）

三井住友海上火災保険株式会社 代理店  
三井住友海上きらめき生命保険株式会社

株式会社 ハート・ワン保険サービス

取締役 田中一穂（60期）

〒380-0888 長野県長野市上ヶ屋 2471-3376

TEL & FAX : 050-8686-0881

E-mail : f35540288kt@ngn.janis.or.jp

あなたを、  
ひとりで、  
死なせない。

そう遠くない、この先、  
50万人が孤独死をし、  
100万人以上が、  
介護難民となる、この国。  
地域がしっかり、つながって  
支えられる仕組みを  
作っています。

医療法人社団 ヒルデモア  
常務理事 碓田 茂（68期）

# 中山道69次を歩く(3)

## 坂本宿から長久保宿まで

上田高校64期生が還暦を迎えたのを期に始まった中山道の旅。楽しく歩いていくうちに秋が深まり、とにかく年内に碓氷峠を越えようということになった。

第6回は昨年12月19日。前夜からの寒波で軽井沢は積雪10センチ。雪の峠越えは不安だったが、スタート地点の横川は薄雪だったので、歩くことにした。

横川駅から旧旅籠屋が残る中山道を歩き、碓氷の関所跡に復元されている東門を通関手形なしに通り過ぎ、薬師坂を登って2キロほど歩くと坂本宿。徳川幕府の参勤交代制に伴い、幕命で作られた宿場。整然と区割りされた街並みが今も残る。

坂本宿の西の木戸を出てしばらく歩くと、碓氷峠自然探勝路の標柱があり、ここから杉林の登山道に入る。うっそうと茂る杉林の道は、雪もなく快適な初冬の山道、と思う間もなく、剗石坂の急登。「箱根より甚だ難所也」と古絵図に書かれているとおりの急坂を30分、路傍には南無阿弥陀仏と彫ら

れた石や馬頭観音などがあり、苦しい登りをねぎらってくれる。

弘法の井戸、剗石茶屋跡を過ぎ、峠の中間地点の山中茶屋跡までは順調だったが、施行所跡のある沢まで下りた後の登りの長坂は、ク

マザサが雪の重みで道を覆い、積雪10センチの下は霜柱で、踏みしめる足がズブズブと沈む。ここが最後の難所と声を掛け合って登り、碓氷峠の頂上にたどりついた。

軽井沢宿は、今は旧軽銀座と呼ばれて観光客でにぎわっていて、本陣跡は立て看板のみ。日没になり、クリスマス・イルミネーションで幻想的に輝く街を散策し、懇親会で疲れを癒した。

第7回は2月27日、軽井沢駅から、春まだ浅い信濃路を歩いた。杳掛宿から、中馬追いで賑わった借宿を通って追分宿へ。追分宿は中山道と北国街道の分岐点として栄え、今も江戸時代の雰囲気を残している。宿場出口の分去れの碑から、左の中山道をたどり、小田井宿へ。

小田井宿は小さな宿場だったと

いうが、本陣、問屋、旅籠屋など江戸時代からの建物が現存している、昔にタイムスリップした気分になる。

第8回は3月27日、今は商店街になってにぎわっている岩村田宿から塩名田宿へ。右手に浅間山、左手に八ヶ岳を見ながら、リンゴ園と田んぼの中の道を歩く。塩名田宿は千曲川を前に、河岸段丘上に本陣、脇本陣、旅籠屋、問屋があり、崖下に河原宿がある。千曲川に架かる橋の上から見た浅間山は美しく、急いで通り過ぎてしま

うのは惜しいほど。

五郎兵衛新田の中の道を歩くこと約3キロで八幡宿。米の集散地と

して栄えた問屋や脇本陣兼問屋の建物が今も残り、和宮様お泊りの本陣門も残っているが、静かな宿場である。

瓜生坂を越えて鹿曲川を渡ると望月宿。現在も当時の建物が多く残り、宿の至る所に比田井天来ゆかりの書道家による揮毫看板が掲げられているのがいい。

第9回は4月25日、問の宿茂田

井入口から歩く。宿場用水のせせ

らぎが聞こえるような静かな宿場。酒と旅を愛した牧水が逗留した酒蔵の入口には歌碑が建てられている。名主で本陣も務めたという酒蔵では、善光寺秘蔵酒を試飲。

### 中山道長久保宿

満開の桜を見ながら芦田宿へ。

芦田宿本陣の門を入ると、鯰の屋根飾りのある豪壮な装飾の客殿があり、間取り図が掲示してあるので、中に入れないが、奥の客殿の様子を想像した。

芦田宿を出ると、笠取峠。松並木の木漏れ日の中を旅気分が上る。

峠の一里塚に松とともに植えられた枝垂れ桜は満開。峠の上からは、中山道原道が復元、整備してあって歩きやすい。

長久保宿は交通の要衝にあり、旅籠屋、問屋の数も多かった。明治になって、鉄道の沿線からはずれたため、かつてのにぎわいがなくなったが、旅籠屋、問屋の建物

が残り、一福処・資料館も整備されていて楽しめた。

ソフトウェアの

システム技研株式会社

代表取締役 清水 通男 (66期)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-34-1 サンフジビル 5F

TEL (03)5272-8830 FAX (03)5272-8836

URL <http://www.s-giken.com>







# 卒業してから54年

## 関東五四期会新年会に41人

2月10日、「はあといん乃木坂」において関東五四期会の新年会を開催し、会員38人と本部から春日会長、山口幹事長ら3人の計41人が参集した。

第一部の講演会は、同期の横浜国大名誉教授の橋田(旧姓中島)ちせさんが、演題「老年期の健康法」を丁寧に分かりやすく話してくれた。要約すると、大切なのは平均寿命に達することではなく、一般的にその6-7年前の状態の「健康寿命」をいかに平均寿命に近づけられるかである。

生理的老化現象としては、臓器が衰える、免疫力が弱まる、機能回復が遅くなる、環境順応力が衰える等が挙げられ、神経機能では認知症がそれである。予防法は、

まず健診等で現在の自分の健康状態を把握しておくことが前提で、栄養をまんべんなく(特に動物たんぱくを)とり、早く歩くなどの運動(スポーツでなくても可)を心掛ける。認知症については、誰かに早く気付いてもらい、早く手当てすることが大切という内容。職業柄とはいえ、時間ぴったり



関東五四期会新年会に集まった41人

にまとめられた講演は同期生にとつて年齢に即し身につまされる内容で、会場から万雷の拍手が寄せられた。

第二部の懇親会は、本部からの報告事項、母校創立110周年記念行事への寄付、「日本一の兵・真田幸村公」のNHK大河ドラマ放映実現署名の要請等の

## 旧北国街道を歩く

### 58期が上田で同期会

あと、同期生の岡崎酒造の「亀齢・生」が混じる酒宴のうちにぎっしり盛大に行われた。橋田ちせさんの講演会ということで、女性軍5人が参加してくれ、錦上花を添えた。あらためて、馬場武彦、倉島彰両世話人と滝沢睦夫カメラマンの尽力に感謝する。

沓掛文哉(54期)

今年の58期総会・懇親会は4月17日に開催された。当日は、季節外の降雪に見舞われ、イベントのゴルフ・コンペは積雪のため中止を余儀なくされたが、降雪は朝

人。旧北国街道をたどつて「歴史の町並みの路で環境・食・身体・地域・五感で知恵を学ぶ」という「北国街道コース」を歩いた。

ガイドの案内で上田駅前を出

ウォーキング参加者は12人、それと「ゲートウェイUEDAウォーク信州上田城下町」というボランティア団体のガイドが2



歴史の散歩道

発、まずは笠原製糸の常田館に向かう。常田館から旧北国街道を伝い、桜が満開の毘沙門堂、科野大宮社を経て、日輪寺・宗畔寺へ。日輪寺の山門前から西に伸びる道は、われらが母校の古城の門まで一直線に通じているとのこと。さらに海野町へ。通りは既に歩行者天国が始まり、道路の中央を歩く。原町通りになると、向こうの方からブラスカバンドのパレードがやって来た。この辺りはまだ人影も少なく、やや寂しい感じ。そして柳町のコラボ食堂で昼食となる。2日前に試食会が行われたばかりという「あや姫膳」をいただく。地産地消による地域活性化を目指すNPOが、古文書にあった献立を参考にして、江戸時代の上田藩松平家6代当主忠優の4女・章姫にちなんで作られたものといい、一般に出されるのはこの日が初めてだそう。

腹を満たして再び旧北国街道へ。矢出沢川が南へ直角に曲がる所まで行き、「歴史の散歩道」(写真)をたどつて上田城址公園に到着、解散。途中5カ所のポイントで問題を解きつつ、約7キロを歩いた。

北村尚巳(58期)



ゴルフコンペ

# 秋葉光廣氏が優勝

## 期別対抗は63期制す



優勝した秋葉光廣氏 (左)



期別対抗戦で優勝した63期チーム

関東同窓会ゴルフ同好会主催のゴルフコンペは4月8日、千葉カントリークラブ川間コースにて開催された。当日はコースのいたるところ桜が満開で、絶好のお花見ゴルフ大会となった。今回はこれまで最多の40人が参加し、盛会となった。

見事優勝の栄冠に輝いたのは秋葉光廣さん(55期)で、グロス(GR)95、ネット(NT)67。準優勝は佐伯謹吾さん(63期)で、GR89、NT68。3位の山辺良樹さん(65期)はGR90、NT70。いずれもアンダーパーの好成績であった。ベスグロは常連の西澤省悟さん(65期)が83で獲得。

期別対抗戦は、今回4人以上参加の6チームで争われ、63期チームが平均NT73・0で2度目の優勝。

さらに今回のサブライズは、林壮治さん(63期)がホールインワンを達成したこと。当コンペでのホールインワンは、花房伸吉さん(54期)以来2度目の快挙である。

優勝した秋葉さんの弁。「今日は天候、パートナーに恵まれました。ハンディ28はこれまでの蓄積で、これを最大限利用することで優勝できました」

ホールインワン達成の林さんの弁。「昨日まで腰痛でキャンセルを考えたほどでした。今朝スタートしたら意外に調子が良く、西コース8番で5番ウッドのショットがカップインしました」

今回は10月下旬から11月上旬ごろ開催の予定です。最近案内直後に満杯になりますので、早めのエントリーをお願いします。

幹事 上原昇(65期)

### 寄付者 / 寄付グループ

(2009年10月1日～2010年3月31日)

期	氏名	金額	期	氏名	金額	期	氏名	金額
33	石井正六	10,000	54	滝澤睦夫	1,000	61	笠井徳爾	10,000
36	小川太郎	10,000	57	高木佳年	5,000	62	岩井重一	33,000
43	清水哲夫	3,000	59	大日方勝利	8,000	62	栗山正雄	2,000
48	大平 暁	1,000	59	小林朋晃	1,000	65	上原 昇	2,000
49	山岸萬亀男	2,000	60	大橋邦夫	5,000	68	田中秀喜	3,000
50	久保田 滋	1,000	60	白井 透	8,000	69	高橋 実	2,000
50	吉村洋一	10,000	60	鷹野芳機	1,000	62期有志	1,000	
53	大塚教夫	1,000	60	出嶋紀一郎	1,000	執行部有志	3,616	
53	服部 一郎	2,000	60	日置勇二	50,000	計24人+2団体	176,616	

### 運営基金拠出者

期	氏名	金額
43	田玉重陽	10,000
55	柳沢郁政	10,000
65	笹沢政利	10,000
66	西川みち子	10,000
計4人		40,000

### サマーウォーズ上映会支援者

期	氏名	金額	期	氏名	金額	期	氏名	金額	期	氏名	金額
52	森 浩一	1,000	57	宮坂幸雄	1,000	62	柳澤敏雄	1,000	67	水島良子	3,000
53	浅野井 恭	500	58	波田野 浩	5,000	62	依田欣五郎	1,000	69	池田有美子	500
53	櫻井功輝	500	60	白井 透	1,000	63	川村恭司	1,000	69	倉沢 裕	500
53	堀内忠久	1,000	60	有志	30,000	63	保屋野美智子	500	72	船渡和男	2,000
54	藤村延魚	1,000	61	荻原隆治	500	64	小野博見	500	72	関 博明	500
54	前田喜美子	1,000	61	笠井徳爾	1,000	64	藤巻禮子	1,000	72	関 雄二	500
54	有志	50,000	62	浅井保雄	1,000	64	有志	9,000	72	福田礼子	1,000
55	宮島光男	2,000	62	片山隆行	1,000	65	上原 昇	1,000	入場者有志	8,000	
56	笹澤政道	1,500	62	栗山正雄	20,000	65	丸山暢久	1,000	染谷丘高卒業生有志	5,000	
56	成田邦夫	1,000	62	小山平六	500	66	清水 理	500			
57	田沢雄二郎	1,000	62	松井由美	10,000	67	堤 達	500	計37人+5団体		168,500





# 2009年度会務報告案

(09年4月1日～10年3月31日)

## ▼第48回総会・懇親会

09年6月27日に如水会館で開催し、186人が参加。総会では新幹事長を選出し、相談役、顧問に新たに各2人の委嘱を決定。宇崎童童さんらのジャズ演奏が懇親会を盛り上げた。

## ▼会報

09年5月下旬に総会直前号として78号を発行。年末に簡易版発行を計画していたが、収入の好転を受け、正式版として79号を発行。

## ▼新年会

10年1月21日に日本教育会館で開催し、90人が参加。講演会は岩井重一氏(62期)による「裁判員制度がスタート」。

## ▼住所不明会員の集中調査

09年10月、11月に47期から86期の調査を各期で実施。1割近い会員の新任所が判明。

## ▼年会費納入状況

09年度の年会費収入は222万円と予算を22万円超え、前年比でも13万円の増となった。住所調査による貢献も大きい。

## ▼寄付金収入

09年度は65万円と予算を15万円超え好調。総会受付の際の寄付協力などが大きく貢献。

## ▼「サマーウォーズ」上映会を企画

年度計画にはなかったが、11月の役員会で急ぎよ上映会開催を決定し、企画・参加者募集を実施。上映会自体は10年度に開催。

## ▼その他

母校社会講座への講師派遣、年2回のゴルフコンペ実施、本部や各支部総会などに出席。

## 2009年(平成21年)度決算報告案 (2009年4月1日～2010年3月31日)

収入の部			
科目	予算	決算	差額
前期繰越金	945,499	945,499	0
大会会費収入	1,440,000	1,408,000	-32,000
会報広告料	500,000	530,000	30,000
年会費収入	2,000,000	2,218,000	218,000
会議費収入	600,000	627,000	27,000
寄付金収入	500,000	645,457	145,457
雑収入	200,000	189,000	-11,000
受取利息収入	0	334	334
(小計)	5,240,000	5,617,791	377,791
運営基金利息繰入	0	0	0
合計	6,185,499	6,563,290	377,791

支出の部			
科目	予算	決算	差額
大会費	1,260,000	1,243,108	-16,892
会報	1,400,000	1,861,768	461,768
交通	200,000	148,180	-51,820
通信	120,000	62,928	-57,072
会議費	700,000	709,530	9,530
渉外費	200,000	199,249	-751
印刷費	150,000	138,600	-11,400
事務費	720,000	776,950	56,950
雑費	60,000	78,202	18,202
(小計)	4,810,000	5,218,515	408,515
次期繰越金	1,375,499	1,344,775	-30,724
合計	6,185,499	6,563,290	377,791

## 2010年度会務計画案

(10年4月1日～11年3月31日)

### ▶第49回総会・懇親会

2010年7月3日(土)に如水会館で開催。母校創立110周年、会報80号発行を記念し、6000円の特別会費に。実行委員最年長の63期が中心になって企画運営を実施。

### ▶会報

80号は6月初旬に総会直前号として発行、81号は年末年始に昨年度と同様に発行。

### ▶「サマーウォーズ」上映会

4月10日に一ツ橋ホールで開催。細田守監督のトークショーも実施。

### ▶ゴルフコンペ

例年通り年2回実施。

### ▶ホームページの活用

同窓会員や同期会、母校の動向、お知らせなどをHPに積極的に取り上げ、情報交換を促進。

### ▶母校・本部などとの交流

母校社会講座への講師派遣、入学式・卒業式への出席、上田本部、他支部の総会への出席。

### ▶他団体との交流

県高校東京同窓連の活動に引き続き加わり、同様の活動を行っている各同窓会との交流を継続。

### ▶財務健全化

会報発送先の絞り込みを実施。その前段的措置として、80号の送付に合わせ、各会員に会報が確実に届いているか調査する。

## 2010年(平成22年)度予算案 (2010年4月1日～2011年3月31日)

収入の部			
科目	22年度予算	21年度決算	増減
前期繰越金	1,344,775	945,499	398,942
大会会費収入	1,260,000	1,408,000	-148,000
会報広告料	500,000	530,000	-30,000
年会費収入	2,100,000	2,218,000	-118,000
会議費収入	750,000	627,000	123,000
寄付金収入	670,000	645,457	24,543
雑収入	200,000	189,000	11,000
受取利息収入	0	334	-334
(小計)	5,480,000	5,617,791	-137,791
運営基金利息繰入	0	0	0
合計	6,824,775	6,563,290	261,485

支出の部			
科目	22年度予算	21年度決算	増減
大会費	1,260,000	1,243,108	16,892
会報	1,750,000	1,861,768	-111,768
交通	160,000	148,180	11,820
通信	80,000	62,928	17,072
会議費	1,070,000	709,530	360,470
渉外費	200,000	199,249	751
印刷費	150,000	138,600	11,400
事務費	750,000	776,950	-26,950
雑費	60,000	78,202	-18,202
(小計)	5,480,000	5,218,515	261,485
次期繰越金	1,344,775	1,344,775	0
合計	6,824,775	6,563,290	261,485

## 運営基金特別勘定 (2010.3.31現在)

科目	前期繰越	当期	期末残高
運営基金	10,150,000	40,000	10,190,000
同利息	2,487,418	17,680	2,505,098
利息一般会計繰入	-1,700,000		-1,700,000
合計	10,937,418	57,680	10,995,098

(単位:円)

普通預金:三井住友銀行  
郵便振替:麴町郵便局  
定額貯金:麴町郵便局  
定期預金:三井住友銀行

## 一般会計・特別会計総括表 (2010.3.31現在)

科目	金額	科目	金額
現金	2,051,905	次期繰越金	1,344,775
普通預金	510,379		
郵便振替	549,523		
特別会計から一時流用	-1,948,632		
上映会(前払金-前受金)	181,600		
<運営基金用>			
定額貯金	5,217,680	運営基金	10,995,098
定期預金	3,823,193		
普通預金	5,593		
一般会計へ一時流用	1,948,632		
合計	12,339,873	合計	12,339,873



小島吉男 2010	田中 剛 2009	大橋邦夫 2010	大澤義隆 2011	橋詰剛史 2009	島田彰男 2009	66期	70期	吉田和子 2009
近藤正輝 13	手塚信康 09	荻原武仁 09	荻原隆治 14	羽田啓吾 10	清水淳郎 09	荒井秀人 2009	安藤 哲 2013	79期
近藤郁雄 13	手塚洋兵 12	尾上朝子 13	奥村喜美子 10	花岡孝雄 13	清水敬久 11	磯川周治 11	伊藤彰紀 10	荻原 貴 10
坂口武久 10	寺島紘士 13	風間文彦 11	羽和正暉 20	牧野紀明 13	清水安雄 09	今井郷子 09	大橋志津江 11	清水雄至 10
清水康弘 13	寺島知恵子 13	北原英孝 12	加賀美德行 11	松井由美 15	清水計枝 11	大石雄司 10	小池朋子 11	松尾 弘 10
白倉憲二 12	中沢則夫 09	沓掛行徳 10	笠井徳爾 13	松山 武 12	春原和民 10	鬼久保潤一 10	渋谷 稔 10	今井 明 11
関 行裕 09	中島秀忠 12	久保柳哉 14	岸田 勇 09	真山隆夫 11	関川 哲 10	北澤英男 12	花岡千賀子 09	中村通孝 10
高木佳年 12	中島勇司 12	黒澤博芳 14	沓掛 忠 13	丸山 茂 09	高梨芳男 11	北島良男 11	平賀淳子 16	80期
滝澤紀夫 10	中村国武 10	小林秀芳 11	久保田敬雄 12	宮坂和夫 09	竹内中和 11	小山 茂 09	丸山清光 11	石黒久仁子 09
滝澤文雄 10	中村 敏 11	小松有也 13	小林宣光 14	宮坂信章 14	塚田高明 09	笹澤和平 14	緑川正博 13	小林 章 09
竹内 昭 12	西澤益男 09	小宮山 毅 09	小山 満 11	宮崎信二 19	辻 佐知子 12	清水 理 09	虫明陽子 12	長谷川 剛 09
田沢雄二郎 12	波田野 浩 13	小山比呂志 09	鮫島秀之 09	室賀太郎 13	直井隆徳 11	清水通男 20	71期	會田信子 31
田村義昭 20	林 嘉市 16	塩川英世 10	関 勝男 13	諸岡健児 11	永井信介 10	田口 博 11	赤木千江子 09	81期
戸塚英雄 10	堀内 昭 14	清水敏弘 14	高橋宗雄 10	柳澤敏雄 14	中西載慶 13	竹内豊和 11	國安法夫 09	今田明日香 11
中澤啓司 13	本田祥治 10	清水幸雄 11	滝澤 進 10	柳沢昌俊 10	小野博見 09	田中 茂 11	久保田則夫 11	小池 徹 09
西尾紀一郎 14	宮川克彦 17	白井 透 13	田沢 洋 14	大塚和弘 12	藤巻禮子 09	田村和枝 10	近藤 徹 09	児玉俊一 09
野田晃弘 11	宮原清明 10	袖山 脩 09	玉木純雄 12	小出勝利 09	松高賢一 12	緑川正次 10	高木 繁 11	服部みどり 09
箱山 雍 23	宮原安春 09	鷹野芳機 15	西澤正捷 16	塩入功三 09	宮坂信之 11	宮坂栄一 10	柳沢幸夫 10	立木富恵 09
畑 勲 12	宮本忠昭 16	滝澤章次 13	羽毛田仗一 17	高松郁夫 13	宮澤康元 11	柳澤公雄 13	青松英男 13	82期
保科政男 11	森 邦夫 18	竹内善尉 09	半田利雄 12	小林圭一 09	村居次雄 12	山邊豊文 13	72期	田玉智明 13
堀 英毅 12	百倉征詞 15	竹倉征詞 15	平林秀明 09	村上国夫 11	柳沢信義 12	石井茂夫 09	朝川雄二 09	中村 薫 09
堀内 修 12	矢嶋瑞夫 15	武田直樹 11	星山輝男 10	63期	柳田 稔 12	堀内ふき 10	今井一郎 14	長谷川 浩 12
本田 健 10	山岸宜公 10	田中一穂 12	細萱英久 12	青木郁夫 12	山崎一郎 09	67期	岩崎裕治 10	堀田きよみ 10
前田由美子 09	山邊光一 11	田中 純 09	堀内寿美 24	浅野幸司 11	吉崎芳郎 09	岩崎 章 10	榎本美智子 09	83期
松木 功 17	吉池千冬 09	田中 節 11	町田 章 09	飯島正文 13	塩川伸明 18	熊坂文成 10	川崎とみ子 13	大野聡子 09
松田光一 10	吉池正樹 13	田中武夫 10	三井文人 13	飯塚一雄 10	田中耕一 10	小林みゆき 13	氣田夏子 12	竹内延彦 09
宮坂幸雄 09	依田康徳 10	塚田 晃 10	宮坂 清 10	大塚和弘 10	野村 一 11	小松康夫 10	小宮山修邦 10	榎本かおる 10
宮下廣勝 10	桜井成樹 12	出嶋紀一郎 09	宮島英紀 30	荻原英夫 10	山本淳一 09	坂口公一 09	関 博明 09	84期
山浦 武 09	星野和俊 13	戸島忠彦 09	麦島和子 10	上条和祥 11	65期	清水研一郎 09	関 雄二 09	山岸勝博 09
山崎逸雄 12	59期	戸塚武雄 12	望月 信 17	川村恭司 09	赤尾晴夫 11	田中啓子 12	竹内功一 10	吉池 仁 14
横沢久雄 14	有賀勝雄 12	長崎 誠 11	山浦直次郎 14	神林 森 11	池田恵一 11	谷合裕子 10	田中 誠 13	85期
渡辺静久 11	手塚洋一 09	中島恭一 09	由井 崇 10	木村公平 09	岩崎和雄 12	堤 達 09	長坂武見 12	小須田武志 13
渡辺浩通 13	指宿淑子 10	中島 亨 10	吉澤善男 12	吉澤崇男 09	岩崎ひとみ 12	手塚 茂 18	船渡和男 10	近藤弘司 11
鈴木芳枝 15	岩崎忠夫 10	中島敏男 14	関 勝 12	小林正則 11	上原 昇 09	丸山博見 17	福田礼子 09	桜井紀彦 09
山崎紀典 09	柿崎靖夫 12	西沢國隆 14	62期	小林悠一 19	内堀 信 13	水島良子 10	矢島基美 09	加藤 学 09
金澤昭義 10	掛川勝司 10	沼形泰枝 13	青柳健次 13	小林諒一 14	宇野直幸 11	山下一雄 14	山崎初美 09	86期
馬場健一 13	木下嶺夫 12	橋詰武敏 11	秋田 勇 15	桜井敬二 09	大野正広 09	山本修士 09	依田昌樹 09	住田陽子 09
武井和雄 09	小林賢一 09	羽毛田 信 10	浅井保雄 11	佐伯謹吾 13	折井正博 14	佐々木美千代 09	73期	87期
58期	小林朋晃 11	久田英保 09	朝沢 智 09	関田正幸 10	柿崎良男 13	沓掛正樹 09	阿部直彦 09	北村玲子 13
青木 淳 14	小林宏行 10	平林 久 14	有賀幾夫 11	滝沢鐵夫 15	菊地暁子 12	68期	尾台通久 10	89期
赤池三男 09	小林芳友 11	福嶋 宣 19	有光忠夫 09	武井長久 10	塚田道明 10	稻寺 隆 10	河野嘉子 12	野澤郁子 12
井沢 敬 19	小林義典 14	古川 敦 09	岩井重一 22	田中 稔 12	甲田幹夫 12	碓田 茂 13	須貝 博 09	92期
磯部由紀子 09	坂口茂夫 10	前田尚治 12	小川朝行 13	角田玲子 11	小宮山 豊 09	工藤敏夫 09	橋爪宏達 09	橋本真弓 09
伊東啓治 13	櫻井資悦 10	松井石根 12	片山隆治 13	中沢秀夫 15	小宮山 雅堂 12	甲田 廣 09	橋爪尚子 09	93期
伊東紀男 12	清水侯博 10	松木 強 09	片山登喜男 11	中山和彦 10	小宮山 実 10	小宮山 実 10	藤木和彦 10	阪下千恵 09
伊藤文明 14	関 和明 09	松林純夫 16	木内和宣 14	成澤三雄 29	塩川明男 10	塩野入文雄 12	藤澤市郎 13	95期
大井秀三郎 13	関根克郎 10	丸山久勝 14	栗山正雄 09	西澤信幸 09	柴田正文 10	芝間伸剛 18	74期	橋本清香 10
大島仁士 10	関本桂子 10	三井武雄 09	桑田博章 09	藤 壮治 10	関森寿一 11	田中秀喜 09	荻原久俊 09	97期
大日向寛敏 10	武重昭蔵 11	武藤義勝 13	小泉邦夫 10	藤川 昇 12	高畑悟郎 09	土屋耕太郎 16	坂口洋三 14	露久保智美 12
片岡春雄 12	田村 功 09	村田正男 09	児玉一江 10	保坂証司 13	瀧沢政視 13	中川彰雄 14	林 幸平 10	津島葉子 09
金井 久 09	千野裕明 13	森田英明 10	小林 真 09	保屋野美智子 12	田中 昇 09	中島みどり 15	宮下研也 09	依田恵美子 11
金子親碩 13	土屋勝典 13	両角 聡 09	小山平六 14	堀内敏文 09	田中由紀子 09	西沢 悟 13	75期	100期
鎌原昭治 10	常盤秀夫 11	矢島邦彦 11	斎藤美敏 14	宮入從誠 09	田村一平 13	松山研治 10	小林正宏 11	滝澤成晃 13
北澤 彰 09	西沢正浩 09	安間 襄 13	酒井伸二郎 09	宮崎辰治 09	丸山洋一 12	丸山洋一 12	羽田 平 09	小池伸太郎 10
北村尚巳 09	荻原清人 11	柳沢 厚 13	坂口典和 11	矢島正晴 09	宮島省吾 13	宮島省吾 13	宮島省吾 13	田中悠樹 11
久保田達夫 13	長谷川久二 18	柳沢直治 09	佐藤澄江 15	山浦 衛 11	宮崎直之 09	山田美紀 14	山田美紀 14	103期
倉島今朝徳 21	羽田幸昌 09	山本哲之 14	清水輝夫 09	山浦善樹 09	中村宣夫 11	山本近雄 11	和氣寿子 09	塩澤陽香 09
小池 晃 11	羽田幸善 12	渡辺達三 11	正村真治 10	山浦成子 09	西澤省悟 10	横山佐苗 10	渡辺聡明 22	山越聖子 09
神津 進 12	石崎吉宏 14	渡辺俊彦 12	白井宏和 13	若林春樹 11	馬場和幸 12	金子元昭 12	76期	矢口 寛 09
小島佳雄 09	藤倉恵子 09	下里 剛 11	関 祥行 11	渡辺節男 09	林 長人 09	69期	内山憲一 09	依田秀男 10
後藤文雄 13	田克二 12	甲田 奏 09	高梨奉男 13	64期	深町美由 12	池田有美子 09	佐藤美恵子 09	104期
小林慶三 11	水出清仁 14	61期	瀧澤 晃 09	浅井康彦 11	丸山隆平 09	小川亮夫 13	清水順三 13	羽田えみ 09
小林俊雄 11	柳澤喜明 16	新井袈裟光 13	滝澤 淳 09	荒井裕二 13	緑川政志 09	尾立孝司 10	土屋久幸 10	清水文隆 09
小山 泰 11	山口元彦 09	有坂猛三 13	多胡義孝 09	有賀 猛 11	宮川恵三 11	蟹江由美子 12	広田徳明 13	高柳賢治 11
小山捷二 12	山崎勝二 10	飯野栖子 10	田島善光 15	石井則男 09	宮原 豊 11	倉沢 裕 09	福井正彦 17	岩田菜里子 11
品川勇一 12	大日方勝利 22	池田 稔 13	田口象二郎 09	一瀬清治 11	宮原 豊 11	清水龍夫 10	堀籠秀直 10	水野高夫 12
清水壽一 11	60期	市川武伸 13	土屋和猛 12	一場美智子 13	柳沢光美 11	関 和義 10	77期	107期
清水博一 09	池田 清 10	井出孝光 13	中澤裕治 16	奥村恭子 12	山浦陽士 09	高橋 実 10	佐藤之俊 10	大木智恵 09
城下 尚 14	伊藤正俊 10	井上 剛 10	中曾根弓夫 09	小野沢常裕 13	山浦敬夫 12	土屋文男 10	黒澤太平 09	甲田英里子 09
関 徹 10	井上 茂 10	内山澄孝 11	中村真一 14	北原巖男 11	横関洋一 10	栃原重文 12	78期	計 1,134人
高橋福幸 10	今井勇雄 11	大井 剛 10	中村房子 16	児玉正直 09	清水俊文 09	藤谷芳子 12	鶴殿理枝 12	
滝澤一彦 12	上原惇子 11	大草猛生 12	中山君平 09	小松正佳 09	山辺良樹 11	古畑克巳 12	渡邊 博 15	
滝沢信夫 13	大草 進 13	大沢裕吉 13	西沢邦宣 09	小宮山 孝 09	丸山暢久 11	吉村邦彦 12	小相沢直美 13	





# 年会費納入者一覧 (2010年3月末現在)

- ▶年会費納入にご協力いただき、ありがとうございます。一覧は2009年度以降の年会費を納入した方(1,134人)です。
- ▶名前の後の数字は、その年度まで納入したことを示しています。(例：10=2010年度分まで納入済み)
- ▶会報に同封の年会費の直近納入日、納入期限をご参照ください。80歳以上の方は年会費免除です。
- ▶過年度分未納の方は、さかのぼって納入する必要はありません。納めていただいた時点からカウントいたします。

お問い合わせ先：事務局（幹事長）栗山正雄まで TEL/FAX 03-3811-2639

31期 土屋 学 2010	柄沢和彦 2011 清宮栄市 09	2011 山極喜郎 14	2009 塚田 満 17	2010 武重秀雄 2010 塚田 満 17	2013 村田 寛 2013 母袋博一 11	53期 阿久津義雄 2012 浅野井 恭 13	石原澄江 2011 市河富弘 14	55期 青木幹男 2011 秋葉光廣 09	甲田洋二 2013 神津 進 15
32期 水野利男 12	沓掛元砥 09 窪田富男 09	山崎延秋 09 山崎光夫 09	新堀英行 10 西野 明 11	新堀英行 10 西野 明 11	両角克己 10 八木浩輔 13	大矢憲明 13 小川 廣 09	荒井恒雄 10 荻原統夫 13	小林英郷 11 飯島慶三郎 14	小平節夫 14 小山荘司 10
35期 滝澤 正 16	小山邦朋 10 笹井 博 20	吉村 功 09 土屋侃司 12	沼田 淳 14 馬場進吉 18	沼田 淳 14 馬場進吉 18	柳澤 暁 14 柳沢 純 19	井上真人 10 岩崎 涉 11	河西秀夫 14 菊島和宣 09	伊藤典久 10 上原 尚 09	近藤 勲 10 坂田治三郎 11
36期 滝澤克己 09	佐藤 一郎 13 島津 喬 37	49期 青木喜久彌 12	堀内健二 15 間庭秀人 11	堀内健二 15 間庭秀人 11	柳沢五郎 09 横島義之 15	岩田 久 11 大久保慶次郎 10	久昌貴代江 10 沓掛文哉 09	荻原光夫 11 寛 正博 12	笹澤政道 14 佐藤英和 11
37期 清水志郎 15	島津 喬 37 関本秀治 11	青木喜久彌 12 芦田 純 10	水野哲雄 15 宮原 魏 09	水野哲雄 15 宮原 魏 09	吉川深二 13 六川二郎 12	大塚教夫 09 大塚昌宏 10	倉島 彰 10 黒岩千鶴子 13	菅 正博 12 片岡恒夫 10	関 勝久 12 柴田義人 09
39期 菊地 博 16	田澤 徹 10 田守正雄 19	石井智憲 09 石塚民雄 12	宮本嘉興 13 室賀超八郎 09	宮本嘉興 13 室賀超八郎 09	六川博輔 16 滝澤英彦 19	尾崎俊朗 12 尾澤正毅 10	黒川次郎 10 神津勝重 13	川上博美 09 木村和幸 11	瀬下正利 13 滝内 健 12
40期 児玉安彦 10	土屋 博 10 豊城 乾 10	榎本秀雄 20 大石和夫 09	魏 滋 10 柳沢洋一 10	魏 滋 10 柳沢洋一 10	丸山 弘 09 小林貴一 12	加々々悦朗 17 掛川多美雄 12	呉 公一郎 10 小菅健司 10	沓掛勝利 10 沓掛正幸 13	滝内 仁 11 田代和美 09
41期 古松 彰 10	森山博司 13 吉田節生 09	萩原 賢 14 小澤泰衛 11	山田秀昭 10 山辺孔一 14	山田秀昭 10 山辺孔一 14	青木 功 29 赤池孝之 11	懸川文夫 12 掛川康夫 11	齊藤智巳 09 櫻井 敬 10	黒岩 了 11 小宮山忠彦 09	立岩 環 11 田辺順一 15
42期 岩下 實 10	花村義男 18 馬場善一 09	高野郁雄 10 滝澤茂夫 10	渡辺洋一 22 袖山睦啓 10	渡辺洋一 22 袖山睦啓 10	飯塚和子 16 池田松子 09	小出 武 12 小林乾泰 11	篠原元司 13 関 正勝 14	坂口宏明 11 坂口守夫 10	田村 功 11 鳥居次生 12
43期 横澤昭安 10	宮原信治 09 村瀬潤一 09	永井俊夫 11 永島啓二 09	田中達夫 10 土屋 正 09	田中達夫 10 土屋 正 09	生駒利行 13 石合正和 12	小川忠夫 10 小山 哲 09	滝沢睦夫 12 滝沢義信 12	清水好昭 13 杉原積雄 12	長坂光登 11 中村甲治 09
44-45期 北澤 守 11	宮原信治 09 久保田昭寿 12	永島啓二 09 永島啓二 09	田中達夫 10 土屋 正 09	田中達夫 10 土屋 正 09	石合正和 12 石巻伸夫 09	須田武久 09 須田武久 09	滝沢睦夫 12 滝沢義信 12	関 五郎 12 滝沢 傳 13	成田邦夫 12 新沼悳雄 10
45期 掛川暉夫 10	宮原信治 09 久保田昭寿 12	永島啓二 09 永島啓二 09	田中達夫 10 土屋 正 09	田中達夫 10 土屋 正 09	石合正和 12 石巻伸夫 09	須田武久 09 須田武久 09	滝沢睦夫 12 滝沢義信 12	関 五郎 12 滝沢 傳 13	成田邦夫 12 新沼悳雄 10
46期 相澤忠一 09	宮原信治 09 久保田昭寿 12	永島啓二 09 永島啓二 09	田中達夫 10 土屋 正 09	田中達夫 10 土屋 正 09	石合正和 12 石巻伸夫 09	須田武久 09 須田武久 09	滝沢睦夫 12 滝沢義信 12	関 五郎 12 滝沢 傳 13	成田邦夫 12 新沼悳雄 10
47期 飯田久夫 10	宮原信治 09 久保田昭寿 12	永島啓二 09 永島啓二 09	田中達夫 10 土屋 正 09	田中達夫 10 土屋 正 09	石合正和 12 石巻伸夫 09	須田武久 09 須田武久 09	滝沢睦夫 12 滝沢義信 12	関 五郎 12 滝沢 傳 13	成田邦夫 12 新沼悳雄 10
48期 森 茂 16	宮原信治 09 久保田昭寿 12	永島啓二 09 永島啓二 09	田中達夫 10 土屋 正 09	田中達夫 10 土屋 正 09	石合正和 12 石巻伸夫 09	須田武久 09 須田武久 09	滝沢睦夫 12 滝沢義信 12	関 五郎 12 滝沢 傳 13	成田邦夫 12 新沼悳雄 10
49期 飯田久夫 10	宮原信治 09 久保田昭寿 12	永島啓二 09 永島啓二 09	田中達夫 10 土屋 正 09	田中達夫 10 土屋 正 09	石合正和 12 石巻伸夫 09	須田武久 09 須田武久 09	滝沢睦夫 12 滝沢義信 12	関 五郎 12 滝沢 傳 13	成田邦夫 12 新沼悳雄 10
50期 飯田久夫 10	宮原信治 09 久保田昭寿 12	永島啓二 09 永島啓二 09	田中達夫 10 土屋 正 09	田中達夫 10 土屋 正 09	石合正和 12 石巻伸夫 09	須田武久 09 須田武久 09	滝沢睦夫 12 滝沢義信 12	関 五郎 12 滝沢 傳 13	成田邦夫 12 新沼悳雄 10
51期 飯田久夫 10	宮原信治 09 久保田昭寿 12	永島啓二 09 永島啓二 09	田中達夫 10 土屋 正 09	田中達夫 10 土屋 正 09	石合正和 12 石巻伸夫 09	須田武久 09 須田武久 09	滝沢睦夫 12 滝沢義信 12	関 五郎 12 滝沢 傳 13	成田邦夫 12 新沼悳雄 10
52期 飯田久夫 10	宮原信治 09 久保田昭寿 12	永島啓二 09 永島啓二 09	田中達夫 10 土屋 正 09	田中達夫 10 土屋 正 09	石合正和 12 石巻伸夫 09	須田武久 09 須田武久 09	滝沢睦夫 12 滝沢義信 12	関 五郎 12 滝沢 傳 13	成田邦夫 12 新沼悳雄 10
53期 飯田久夫 10	宮原信治 09 久保田昭寿 12	永島啓二 09 永島啓二 09	田中達夫 10 土屋 正 09	田中達夫 10 土屋 正 09	石合正和 12 石巻伸夫 09	須田武久 09 須田武久 09	滝沢睦夫 12 滝沢義信 12	関 五郎 12 滝沢 傳 13	成田邦夫 12 新沼悳雄 10
54期 飯田久夫 10	宮原信治 09 久保田昭寿 12	永島啓二 09 永島啓二 09	田中達夫 10 土屋 正 09	田中達夫 10 土屋 正 09	石合正和 12 石巻伸夫 09	須田武久 09 須田武久 09	滝沢睦夫 12 滝沢義信 12	関 五郎 12 滝沢 傳 13	成田邦夫 12 新沼悳雄 10
55期 飯田久夫 10	宮原信治 09 久保田昭寿 12	永島啓二 09 永島啓二 09	田中達夫 10 土屋 正 09	田中達夫 10 土屋 正 09	石合正和 12 石巻伸夫 09	須田武久 09 須田武久 09	滝沢睦夫 12 滝沢義信 12	関 五郎 12 滝沢 傳 13	成田邦夫 12 新沼悳雄 10
56期 飯田久夫 10	宮原信治 09 久保田昭寿 12	永島啓二 09 永島啓二 09	田中達夫 10 土屋 正 09	田中達夫 10 土屋 正 09	石合正和 12 石巻伸夫 09	須田武久 09 須田武久 09	滝沢睦夫 12 滝沢義信 12	関 五郎 12 滝沢 傳 13	成田邦夫 12 新沼悳雄 10
57期 飯田久夫 10	宮原信治 09 久保田昭寿 12	永島啓二 09 永島啓二 09	田中達夫 10 土屋 正 09	田中達夫 10 土屋 正 09	石合正和 12 石巻伸夫 09	須田武久 09 須田武久 09	滝沢睦夫 12 滝沢義信 12	関 五郎 12 滝沢 傳 13	成田邦夫 12 新沼悳雄 10



# 会員短信

## 新年会への 出欠はがきより

36期 小川太郎 (軽井沢在住)

先日、会長の白井さんにお会いしました。軽井沢出身とのことで大変喜んでおります。65期の達朗、69期の亮夫の父です。よろしく。

41期 宮下俊夫

剣道部の大先輩、土屋学氏が最近お見えにならなくなったのが残念ですが、後輩としてできるだけ幹事会には出席したいと思っております。

42期 木内俊一

卒業して66年になります。同級会も昨年で最後となりました。現在は35年勤めた会社のOB会、市の地区代表のOB会に出席するぐらいです。至極元気で過ごしております。

43期 池田良一

43期A組のクラス会を毎年秋に別所温泉(つるや旅館、同期の山極尚一氏)に一泊して行っています。いつも20人前後集まり、関東からも数人参加しています。83-84歳の年齢でこれだけ集まるのは珍しいのではないのでしょうか。特攻隊員の生残りも何人かおります。

44-4期 滝沢源平

81歳超。年齢に流されぬよう、毎日のウォーキング、ラジオ体操、月3回のゴルフで体調管理。昨年はエージュシューターで皆さまに祝っていただき

ました。

46期 水澤博

この1月に傘寿を迎え、相応に元気に過ごしています。3月上旬には例年の通り、関東上中456会を開催、同期の諸兄と青春時代に戻る予定です。

47期 窪田富雄

先年の悪病の後遺症(歩行困難)から抜け出せないでいます。今健康な方も年2回の検診を期待します。

47期 上野平八郎

おかげさまで元気な孫どもに囲まれて生きています。

48期 唐沢俊雄

腰痛など、体調優れず欠席させていただきます。

49期 堀内寅次

いつもご連絡ありがとうございます。1月21日は上田の49期会出席のため、欠席させていただきます。ご盛会をお祈り申し上げます。今年も元気でやっけて行くつもりです。

49期 松岡秀夫

毎年、高山植物の写真入りカレンダーを作って、知人に差し上げ喜ばれています。今年も「後立山連峰・八方尾根の高山植物」のタイトルで、これらの地に咲く花をまとめました。(月めくりのカレンダー)

49期 鶴見慎一郎

地元での行事が重なり欠席いたしました。ご盛会を祈ります。関東49期会の「散策の会」は年3-4回実施し、9年目となりました。毎回15人前後が参加。散策後の一杯がまた楽しみとなりました。

49期 大石和夫

残念ながら、体調不良のため外出不能です。

49期 樋村晃一

昨年、喜寿を迎えました。それなりに元気にしておりますが、皆さまとの1年を頑張ってください。

50期 山田秀昭

同窓会、北海道にはないのですか。

51期 六川二郎

当日、監査懇話会の新年会と重なり、残念ながら欠席します。

51期 中澤良行

新年会は別件があり参加できません。上映会は所用でヨーロッパ(ドイツ他)に行っており、これも参加できず残念です。

51期 八木浩輔

浦和大学学長を務めて4年目を迎えます。木曜日は大学の会議日で出席できません。英国から出版したテキスト「Quark-Gluon Plasma from Big Bang to Little Bang (Cambridge University Press, 2005)」が国内外で好評で、そのPaperbacks(普及版)が2008年10月に出版されました。www.cambridge.orgからアクセスできます。446ページのテキストで、75ドル。

今年も一昨年からの全日本マスターズボートに出漕予定。本年は75歳以上のクルーを編成し、既に週1-2回のペースで練習を始めています。諸兄の健勝祈念。

51期 黒川嘉郎

岩井先生には上田法人会でお話をお願いしたり、種々お世話になっており、出席したいのですが、外せない先約があり残念です。

51期 上原隆雄

昨年12月27日に第33回東京平日会(軽井沢・御代田・小海線より上田(中・松尾)高校へ通学したOB会)が東京銀座で開催された。軽井沢より36期の小川太郎氏、44期の柳沢廣氏を迎え計7人が集い、小人数ではあるが、暮の一夕を有意義に満喫した。

52期 柳沢忠

いつも、ご案内を賜り、ありがとうございます。体調不安定(ペース・メーカー)のため、出席かないません。同窓会事務局所在地のあたりが、小生の出生地のように

## 訃報

## 心よりお悔やみ申し上げます。

32期 宮川善一	2009年3月21日	46期 三井 周	2010年3月8日	51期 小林敬三	2009年
33期 石井正六	2009年10月11日	48期 小木曾誠	2010年4月11日	52期 佐々木淳二	2010年3月7日
37期 原田安雄	2009年10月4日	48期 山崎光夫	2009年12月13日	53期 出野今朝雄	2007年秋
37期 横田地弘	2009年6月20日	49期 清水茂雄	2010年4月4日	53期 小出志郎	2009年9月22日
38期 中村道郎	2007年4月21日	49期 竹重信幸	2010年2月	57期 近藤信明	2008年
39期 小林良一	2009年11月	49期 中山典之	2010年1月	57期 中川友喜	2007年3月
40期 荻原龍夫	2009年11月	49期 原田英雄	2009年12月1日	60期 川上知行	2009年12月14日
41期 若林三省	2009年7月19日	49期 村田種雄	2008年9月	63期 関 恒雄	2006年9月20日
42期 安田哲夫	2009年9月29日	50期 平林 浩	2009年12月9日	65期 柳沢晴久	2009年11月13日
				67期 長谷川榮一	2009年12月24日





聞いており、1945年に大塚で戦災

に遭い、上田原(母親の実家)に疎開

しました。青柳国民学校3年のころに  
は、空襲も激しくなり、防空壕に避難  
することが多くなりました。川辺国民  
学校4年から疎開生活に入りましたが、

1年間登校拒否に陥り、辛い体験をし  
ました。61年より埼玉県の小、中学校  
63年より神奈川県内の小学校に転動し、  
特殊教育内地留学の折、学芸大で上田  
の先輩(大井清吉氏)にお世話になり  
ました。県立養護学校開校(3校、1  
学級)にかかわる任務に20年間携わり  
ましたが、体調を崩し退職しました。

**53期 服部聡一郎**

病気になるはず、けがをせず、生涯現  
役を目指します。畑300坪豆トヲで。  
無農薬目指して、患者喜ぶ。スノート  
レッキング、リバートレッキング、山  
菜とりを年数回。

**53期 櫻井功輝**

いつまで出られる同窓会! 73歳

そろそろ上田の恩に対して締めくくる  
べき歳だろうと意気込み、「上田城千本  
桜植樹」を記念して歌を作りました。  
ご試聴ください。よろしければ、新年  
会に参加される御一同様に歌詞カード・  
譜を配布しておいてくださいませんか。  
小生当日CDを持参しますので、会場  
にカラオケを流してくださいれば、歌っ  
てお贈り申し上げます。

**53期 大塚教夫**

元気でやっています。「サマーウォー

ズ」上映会には参加します。

**56期 松瀬勝雄**

新年会開催時刻は昼食会にしてくだ  
されば、参加しやすいいと思っております。  
57期 関行裕

**57期 関行裕**

劇場公開で観賞できなかった映画「サ  
マーウォーズ」上映会を当会として4  
月に計画いただき感謝しています。上  
田が登場するこの映画を楽しみにして  
おります。会報をいつも楽しく拝読し  
ています。今年は57期も「古希」を迎  
えます。

**58期 青木淳**

会報に拙著に関する記事、広告を掲  
載していただき、ありがとうございます。  
58期 寺島紘士

**58期 寺島紘士**

当日はあいにく国際セミナーを主催  
していて、出席できません。ご盛会を  
お祈りします。

**58期 城下尚**

群馬大学を定年退職して、新しい職  
場(東邦病院健康増進予防医学セン  
ター)で3年になります。

**61期 沓掛忠**

昨年11月20日付で役員の任期満了と  
なり、退任しました。少し時間がとれ  
るようになりました。

**62期 真山隆夫**

週のうち1日は大学で講義、2日は  
海外動画ニュースの翻訳(字幕付け)  
をしています。

**62期 羽田啓吾**

出張のため参加できません。

**63期 矢島正晴**

いよいよ晴耕雨読(+PC)の生活  
が始まります。

**66期 田口博**

昨年5月に還暦を迎えましたが、ま  
だ現役で頑張っています。

**67期 手塚茂**

体調を崩して早期退職しました。現  
在通院治療を受け、自宅療養を強いら  
れています。

**69期 高橋実**

石油資源が30年で枯渇すると聞き、  
環境のためにも原子力エネルギーがよ  
いと考えて研究を始めてから35年が過  
ぎました。2005年ごろから地球温  
暖化対策と持続的発展のために期待さ  
れるようになりました。

**70期 大塚次大**

日曜から土曜まで全く休みがありま  
せん。新年会は欠席します。

**72期 今井一郎**

昨年末でオスカープロモーションを  
退社し、ミドルメディアコンサルティ  
ングをスタートしました。

**74期 小山隆弘**

オーバー後期高齢者となった両親の  
チグハグな生活を見るに忍びなく、09  
年12月に33年間暮らした関東を離れ、  
故郷の実家に居を移しました。不況風  
の吹きすさぶこの上田。街起こしをし  
たいと、コタツの中で沈黙黙考。

**76期 宮川正**

航空自衛隊の沖繩勤務から、もうそ  
ろそろ関東勤務となりそうです。次回  
の総会には出席できるかもしれません。

**89期 小林幸治**

ハンドボール班OBの大原章太郎  
(91期)、半田士昌(96期)も参加させ  
たいと思います。

**100期 田中悠樹**

昨年12月より、長野県飯田建設事務  
所に奉職することになりました。

**102期 永井加奈子**

同級生の石塚三夏、望月由香理と参  
加させていただきます。初めての参加  
ですが、楽しみにしております。どう  
ぞよろしくお願いたします。

**104期 柳田晃一郎**

いよいよ大学を卒業し、社会へと旅  
立ちます。諸先輩方にお会いしたかつ  
たのですが、卒業論文発表会がありま  
すので、今回は欠席させていただきます。  
何卒よろしくお願いたします。

**現役の皆さんへ**

同窓会は大異業種交流会でも  
あります。営業は会社の商品を  
売る前に、自分売ることで  
同窓会には、総会のほかに「松  
尾倶楽部」という勉強会やゴル  
フ大会もあります。  
現役の皆さん、これらに積極  
的に参加して自分を売り込んで  
ください。

**53期 堀内忠久**

**編集後記**

同窓会報の編集作業を  
始めた4月中旬。欧州の  
小国アイスランドの火山  
から噴出した火山灰が上  
空を覆い、世界の空の便  
は大混乱に陥った。▼筆  
者は海外動画ニュースの字幕付けの  
「内職」もしているが、欧州からの  
ニュースはこの話題ばかり。空港閉  
鎖で何日も足止めされた乗客の中  
には、航空会社の係員に怒りをぶちま  
ける人も。▼この光景を見ながら、  
ふと3年前の出来事を思い出した。  
シカゴから米大陸を横断する「ルー  
ト66の旅」を終え、ロサンゼルス空  
港から帰国する直前。待合室で搭乗  
を待っていると、突然「東京行き便  
はキャンセルになりました」。▼こ  
の直後、航空会社のカウンターには  
振り替え便を求める乗客の長い列が  
できた。係員は正規チケットの客を  
優先しているらしい。格安チケット  
組の当方は不安になり「公平に扱っ  
てほしい」と訴え、女性係員と口論に  
なった。▼「警察を呼ぶわよ」と脅  
す係員に「どうぞ呼んでくれ」とた  
んか切る筆者。結局、上司が仲裁  
に入り、1日遅れの便を確保できた  
が、その便はシカゴ経由東京行き。  
なんのことはない、ルート66の出発  
点に逆行りしてからの帰国となっ  
た。

真山隆夫



## 映画「こつなぎ」の監督 中村一夫さん (71期)



「入会権<sup>いりあいきん</sup>」という言葉は、最近ほとんど聞かれなくなった。若い世代には、意味が分かる人は少ないだろう。地域の住民が慣習的な権利により、特定の山林や漁場を共同で管理し利用する権利のことだ。その入会権をめぐる農民たちの長い闘争を克明に描いたドキュメンタリー映画「こつなぎ—山を巡る百年物語」が、今静かなブームを呼んでいる。

愛らしい響きの「こつなぎ」とは、実は岩手県一戸町の集落「小繋」のこと。ここを舞台に繰り広げられた住民と地主の対立を3人のジャーナリスト（いずれも故人）が取材。彼らが残した膨大な映像、写真、音声の記録に最近の映像を加えて、ドキュメンタリー映画として現代によみがえらせた。

この作品の監督を務めたのが中村一夫さん。「山に生きる権利が権力により閉

ざされた。10分あまりで回れるほどの小繋集落を目の前にした時、3人の取材記録を伝えることこそ、私の役目だと思った」と語る。

出身は更埴市（現千曲市）。高校時代は山岳班と書道班で活躍。暇を見ては、東映のやくざ映画などを見に行った。「子供のころ、よく親父に連れて行ってもらったのが、映画好きになったきっかけ。コンサートなどにも通い、高校時代は文化的に目覚めた時期だった」

大学は早稲田大学文学部演劇学科へ。2年生の時に先輩ら6人と劇団「六無齋」を立ち上げ、オリジナル劇を上演。アルバイトで生活費を稼ぎながら、演劇に熱中した。

卒業後、制作プロダクションに就職。助監督として企業のPRビデオなどの制作を担当し、そこで知り合った牧野守監督の紹介でドキュメンタリーの世界に入った。現在は、NHK エデュケーションと契約し、教育テレビの「高校講座」を制作している。

映画「こつなぎ」制作の話が舞い込んだのは8年前。映像を残したドキュメンタリーカメラマンの夫人、菊地文代さん（プロデューサー）から声がかかった。「だが、資料が膨大な上、住民が話す方言が分からない。相談にのってくれた地元の



撮影：川島浩（故人）

人が交通事故死するなどトラブルも発生。1年間の予定で始まった制作は、完成するまでに7年もかかってしまった」

全国各地で上映会を開催。3月に東京・全電通ホールで開いた上映会は超満員となり、立ち見客から文句が出たほど。

今一番の願いは、上田での上映会実現。「既に松本、長野での上映が決まっており、上田の人たちにもぜひ見てもらいたい」と力を込めた。

### 上映予定

- ▷ 5月22日～6月14日、東京・ポレポレ東中野
- ▷ 7月25日、松本市中央公民館 Mウィング6階ホール
- ◎お問い合わせ先 「こつなぎ」上映実行委員会 TEL: 03-3555-3987



## 松尾倶楽部 第138 回例会

海洋政策専門家

寺島紘士氏 (58期) が講演

テーマ「新たな海洋立国の実現に向けて」

日時：7月23日（金）午後6時開会（5時半受付開始）

場所：ホテルはあといん乃木坂（旧健保会館）

東京メトロ千代田線 乃木坂駅真上 出口4

会費：5,000円（夕食代込み）

寺島紘士氏の略歴



1941年生まれ、上田高校58期卒。東大法学部卒業後、運輸省（現国土交通省）に入省。中部運輸局長、大臣官房審議官を歴任して1994年退官。1994年日本財団常務理事、2002年シップ・アンド・オーシャン財団海洋政策研究所長。2005年から海洋政策研究財団常務理事。2006年には海洋基本法研究会の事務局長を務めた。

## はがき返信のお願い

今回、各会員のご住所を確認します。お手数ながら、添付の返信用はがきを、総会に欠席する方も必ずご返送願います。

返送がなく、かつ年会費が長期にわたり未納の方につきましては、次号以降の会報の送付を順次停止せざるを得ません。忘れずに、はがき返信と年会費納入でお応えください。年会費納入は過年度分にさかのぼらなくても結構です。